



③ 高等学校 商業科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 フリガナ、名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「商業科」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から50までの通し番号になっており、例えば、25番を

25

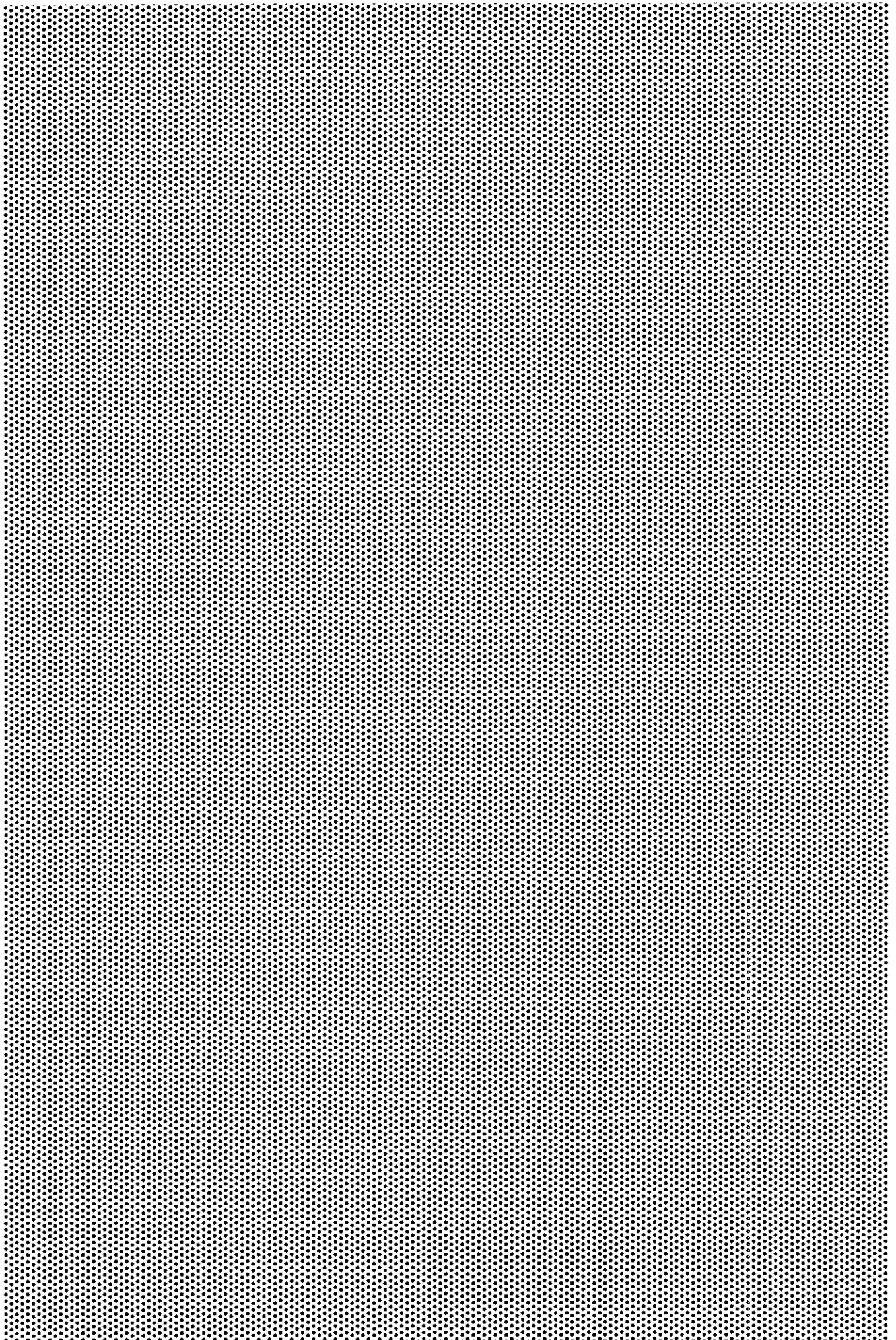
 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

(マークシート記入例)

フリガナ	コウベ タロウ	教科名	商業科
名前	神戸 太郎		

数字で記入……

受験番号					小問番号	解答記入欄										小問番号	解答記入欄										小問番号	解答			
						1 - 25											26 - 50											51			
1	2	3	4	0	1	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	26	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	51	①	②	③	④
0	0	0	0	●	2	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	27	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	52	①	②	③	④
●	①	①	①	①	3	①	②	③	④	⑤	●	⑦	⑧	⑨	⑩	28	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	53	①	②	③	④
②	●	②	②	②	4	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	29	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	54	①	②	③	④
③	③	●	③	③	5	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	30	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	55	①	②	③	④
④	④	④	●	④	6	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	31	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	56	①	②	③	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	7	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	32	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	57	①	②	③	④
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	8	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	33	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	58	①	②	③	④
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	9	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	34	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	59	①	②	③	④
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	10	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	35	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	60	①	②	③	④
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	11	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	36	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	61	①	②	③	④



【1】 次の問いに答えよ。

(1) 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）の「第1章 総則」の内容として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 専門学科においては、専門教科・科目について、すべての生徒に履修させる単位数は、30単位を下らないこととする。
- ② 商業に関する学科においては、専門教科・科目として、すべての生徒に履修させる単位数の中に外国語に属する科目の単位数を5単位まで含めることができる。
- ③ 商業に関する学科以外の専門学科においては、各学科の目標を達成する上で、専門教科・科目以外の各教科・科目の履修により、専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その専門教科・科目以外の各教科・科目の単位数を5単位まで専門教科・科目として、すべての生徒に履修させる単位数の中に含めることができる。
- ④ 専門教科・科目の履修によって、各学科に共通する必履修教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その専門教科・科目の履修をもって、必履修教科・科目の履修の一部または全部に替えることができる。
- ⑤ 職業教育を主とする専門学科においては、課題研究等の履修により、総合的な探究の時間の履修と同様の成果が期待できる場合においては、課題研究等の履修をもって、総合的な探究の時間の履修の一部または全部に替えることができる。

1

(2) 高等学校学習指導要領解説（平成30年7月 文部科学省）商業編の内容として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 商業科で育成を目指す人材像を「ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人」とし、そのような職業人として必要な資質・能力の育成を目指すことを示した。
- ② 科目「ビジネス基礎」については、商業に関する学科における原則履修科目として位置付け、地域におけるビジネスの推進の必要性を踏まえ、身近な地域のビジネスに関する指導項目を取り入れる。
- ③ 地域の活性化を担うよう、観光ビジネスについて実践的・体験的に理解し、観光ビジネスを展開するために必要な資質・能力を育成する視点から科目「観光ビジネス」を設けた。
- ④ 従前の科目「ビジネス経済」の指導項目と科目「ビジネス経済応用」の経済に関する指導項目については、経済のグローバル化に適切に対応して直接的・間接的に他国と関わりをもってビジネスを展開するために必要な資質・能力を育成する視点から整理して統合し、科目「グローバル経済」とした。
- ⑤ 商業科は、20科目で構成されている。その内、基礎的科目と総合的科目以外の16科目をマーケティング分野、ビジネス経済分野、会計分野、ビジネス情報分野の四つの分野に分類し、位置付けている。

2

【2】 次の問いに答えよ。

(1) 経済活動において生産要素が希少なため、企業は様々な選択を連続して行っている。選択する際に、どちらか一方を選択すれば、もう一方を諦めなければならない状態を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① フェア・トレード ② トレード・オフ ③ トレード・マーク
④ クーリング・オフ ⑤ ロジスティクス

3

(2) 消費者保護を目的とした法律として、製品の欠陥が原因で人やものに損害を与えた場合、被害を受けた人に対する損害賠償責任を製造業者が負うことを定めた法律を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 特定商取引法 ② 国家賠償法 ③ 製造物責任 (PL) 法
④ 消費者基本法 ⑤ 消費生活用製品安全法

4

(3) 商品の価格を決める場合には、商品の輸送費用や危険負担を売り手と買い手のどちらが負担するか決める必要がある。売り手が商品を保管している場所で買い手に商品を引き渡す場合の価格を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 現場渡し価格 ② 持ち込み渡し価格 ③ 本船渡し (FOB) 価格
④ 運賃保険料込み (CIF) 価格 ⑤ 建値

5

(4) 債権者は債務者が債務を履行しない場合に備えて、あらかじめ債権者・債務者間で手段を講じておくことができる。このような手段を担保と呼ぶが、債権の担保のうち物的担保にあてはまらないものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 留置権 ② 先取特権 ③ 質権 ④ 抵当権 ⑤ 入会権

6

(5) 不法行為では、加害者の故意または過失に基づく違法行為と、被害者に生じた損害との間に因果関係があることが必要である。このことが成立する場合には、加害者は被害者に賠償しなければならないが、これらのことは被害者が立証しなければならない。これを何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 挙証責任 ② 危険責任 ③ 過失責任 ④ 報償責任 ⑤ 無過失責任

7

(6) 株式会社を設立するには、発起人は定款を作成しなければならない。定款の記載事項には、その1つを欠いても、定款が無効になる絶対的記載事項がある。次のうち絶対的記載事項にあてはまらないものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 目的 ② 商号 ③ 本店の所在地 ④ 代表取締役の氏名(名称)・住所
⑤ 発起人の氏名(名称)・住所

8

(7) 市場調査では、目的に応じて様々な標本抽出(サンプリング)の方法がある。次の方法のうち無作為抽出法にあてはまらないものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 単純任意抽出法 ② 等間隔抽出法 ③ 層化抽出法
④ 集落(クラスター)抽出法 ⑤ 有意抽出法

9

(8) 仕入原価80円の商品に原価率が80%になるように利幅を加えて販売価格を決定した。値入率(マークアップ率)はいくらになるか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 15% ② 20% ③ 25% ④ 30% ⑤ 35%

10

(9) 継続的な業務改善活動などで、広く活用されている手法の一つにPDCAサイクルがある。このサイクルのプロセスにあてはまらないものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 計画 ② 実行 ③ 評価 ④ 改善 ⑤ 報告

11

(10) 法人税を計算するためには、会社の当期利益を所得金額に修正する税務調整が必要となる。このうち、申告調整項目はどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 減価償却資産の償却費計上 ② 貸倒引当金の繰入額 ③ 繰延資産の償却費計上
④ 資産の評価損の計上 ⑤ 寄附金の損金不算入

12

(11) 輸出契約が成立すると、輸出業者は、輸出品の手配が必要な商品についてはその手続きと並行して **13** が届くことを待つことになる。これを受領して初めて輸出業者は、安心して商品を船積みすることができるので、海運貨物取扱業者に貨物の通関手続き、船積みの代行業を依頼する。**13** に入る適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 信用状 ② 船荷証券 ③ 海上保険証券 ④ 送り状 ⑤ 売約書

13

【3】 次の問いに答えよ。

(1) 株式会社では、会社法の規定により、繰越利益剰余金から剰余金の配当として会社が支出する額の1/10を、資本準備金と **14** を合計して資本金の1/4に達するまで計上しなければならない。**14** に入る適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 利益準備金 ② 配当金 ③ 別途積立金 ④ 配当平均積立金 ⑤ 任意積立金 **14**

(2) 決算にあたり、子会社であるA株式会社の財政状態が著しく悪化したので、保有する株式250株（1株の帳簿価額¥80,000）を実質価額によって評価替えした。なお、発行済株式数は500株であり、時価の把握はきわめて困難である。このとき評価損はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

貸借対照表			
A株式会社		令和〇年3月31日	
		(単位：円)	
諸資産	70,000,000	諸負債	55,000,000
		資本金	15,000,000
	70,000,000		70,000,000

(注) 便宜上、資産と負債はそれぞれ一括して「諸資産」、「諸負債」で示した。

- ① ¥5,000,000 ② ¥7,500,000 ③ ¥10,000,000 ④ ¥12,500,000 ⑤ ¥25,000,000 **15**

(3) B株式会社は、次の条件で発行している社債のうち、額面¥20,000,000を発行後4年目の初頭に¥100につき¥98.50で買入償還し、当座預金から支払った。償還する社債の帳簿価額はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

発行条件

額面総額 ¥60,000,000	払込金額 額面¥100につき¥96.80
利率 年2%	償還期限 8年

- ① ¥19,360,000 ② ¥19,600,000 ③ ¥19,680,000 ④ ¥19,700,000 ⑤ ¥20,000,000

16

(4) わが国の企業会計制度における、主要な法律と、すべての企業が会計処理を行うにあたって守らなければならない基準として、企業会計原則がある。次のうち、主要な法律に含まれるものはどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 財務内容評価法 ② 金融商品取引法 ③ 償却原価法 ④ 売価還元法 ⑤ 損益法

17

(5) 流動資産と固定資産を区別する基準には、企業の主たる営業活動の循環過程の中にある資産を流動資産とする営業循環基準とこの循環過程に入らない資産について適用される1年基準がある。次のうち流動資産にあてはまらないものはどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 売掛金 ② 仕掛品 ③ 特許権 ④ 受取手形 ⑤ 材料

18

(6) C株式会社の純資産の部の当期首（平成31年4月1日）の残高は次のとおりであり、その後取引を行った。このとき、期末の純資産合計の残高はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

純資産の部の当期首残高

資本金	¥9,000,000	資本準備金	¥600,000	その他資本剰余金	¥800,000
利益準備金	500,000	新築積立金	300,000	別途積立金	600,000
繰越利益剰余金	6,000,000				

取引

平成31年4月1日 新たに株式100株を1株につき¥60,000で発行し、全額の引き受け・払い込みを受けた。また、払込金の全額を資本金に計上した。

令和元年6月28日 株主総会において、繰越利益剰余金¥5,900,000について、配当及び処分することを決議した。

利益準備金	¥400,000	配当金	¥4,000,000
新築積立金	600,000	別途積立金	900,000

令和2年3月31日 決算の結果、当期純利益¥7,000,000を計上した。

- ① ¥25,300,000 ② ¥25,900,000 ③ ¥26,800,000 ④ ¥30,800,000 ⑤ ¥36,700,000

19

(7) D商会の本店及び支店の貸借対照表（一部）と損益計算書（一部）は次のとおりである。また、未達事項も次のとおりである。このとき、合併精算表を作成したが、支店勘定と本店勘定の一致する残高はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

本店貸借対照表（一部）（単位：円）			支店貸借対照表（一部）（単位：円）				
現 金	40,000		現 金	23,000	本 店	81,000	
売 掛 金	180,000		売 掛 金	40,000			
商 品	57,000		商 品	13,000			
支 店	90,000						
本店損益計算書（一部）（単位：円）			支店損益計算書（一部）（単位：円）				
売上原価	560,000	売上高	800,000	売上原価	154,000	売上高	220,000

未達事項

- A 本店から支店に送った商品¥8,500（原価）が支店に未達である。
- B 支店から本店に送った現金¥5,000が本店に未達である。
- C 本店で回収した支店の売掛金¥4,500の通知が支店に未達である。

- ① ¥81,000 ② ¥85,000 ③ ¥85,500 ④ ¥87,500 ⑤ ¥90,000

20

(8) 現行の企業会計制度のもとでは、原則として、損益計算書で利益が計上されているからといって、利益の額に相当する十分な資金が企業にあるということを意味していない。このため、貸借対照表と損益計算書に加えて、キャッシュ・フロー計算書が必要となる。キャッシュ・フロー計算書が対象とする資金としてあてはまらないものはどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 手もと現金 ② 株式 ③ 普通預金 ④ 当座預金 ⑤ 短期定期預金

21

(9) 財務会計と管理会計は企業会計を構成する2つの会計システムである。次の文のうち、管理会計の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 情報の利用者は企業外部の利害関係者である。
- ② 作成される情報のタイプは、過去情報で会計数値が中心である。
- ③ 会社法、金融商品取引法、税法などの社会的規制を受ける。
- ④ 要求される情報の特性は、有用性が唯一の要件とされる。
- ⑤ 情報利用者の行動への影響づけはあってはならないとされている。

22

(10) E株式会社の期末である令和〇年12月31日（決算年1回）における決算整理後の総勘定元帳残高（一部）は次のとおりである。なお、経常利益は¥1,590,000であった。税引前当期純利益はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

元帳勘定残高（一部）

固定資産売却益	¥270,000	投資有価証券売却益	¥330,000
災害損失	300,000	固定資産除却損	150,000
子会社株式評価損	200,000		

- ① ¥1,210,000 ② ¥1,540,000 ③ ¥1,640,000 ④ ¥1,740,000 ⑤ ¥2,840,000

23

(11) 次の資料から、F社の当期の包括利益はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

資料

A F社は、前期末においてG社の発行済株式の70%を取得し、支配した。

B F社の当期の連結損益計算書（一部）は次のとおりである。

連結損益計算書		(単位：円)
：		：
当期純利益		2,000
非支配株主に帰属する当期純利益		600
親会社株主に帰属する当期純利益		1,400

C F社は、当期中にH社の株式を¥120で購入し、その他有価証券として処理している。なお、期末のH社株式の時価は¥150であった。なお、税金については考えないこととする。

- ① ¥600 ② ¥630 ③ ¥1,400 ④ ¥1,430 ⑤ ¥2,030

24

(12) 株式会社は、設立に際し、株式の払込金の全額を資本金に計上するのが原則であるが、例外として払込金額の1/2以内の金額を資本金に計上しないことができる。この資本金に計上しない部分は 25 勘定に計上する。 25 に入る適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 配当平均積立金 ② 利益準備金 ③ 別途積立金 ④ 繰越利益剰余金 ⑤ 資本準備金

25

(13) 取得原価¥8,000,000 残存価額¥800,000の鉱業用機械装置について、生産高比例法による減価償却費はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、この鉱区の推定埋蔵量は500,000トンであり、当期の採掘量は40,000トンである。

- ① ¥576,000 ② ¥636,000 ③ ¥640,000 ④ ¥736,000 ⑤ ¥800,000

26

【4】 次の問いに答えよ。

(1) 次の資料から、賃金はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

資 料

- A 作業時間票 30枚
- B 実際平均賃率 ¥800
- C 直接作業時間 600時間 (製造指図書番号の記入あり)
- 間接作業時間 200時間 (製造指図書番号の記入なし)

- ① ¥640,000 ② ¥480,000 ③ ¥320,000 ④ ¥270,000 ⑤ ¥160,000

27

(2) 次の資料から、I 製作所の当月の経費消費高はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

資 料

- A 前月繰越高
 - 材料棚卸高 ¥470,000 賃金未払高 ¥170,000
- B 当月の取引
 - 材 料 ¥1,500,000 賃 金 ¥900,000
 - 従業員賞与手当 90,000 ガ ス 代 270,000 (ただし、測定高は¥280,000である)
 - 雑 費 140,000
- C 次月繰越高
 - 材料棚卸高 ¥400,000 賃金未払高 ¥180,000
- D その他
 - 減価償却費月割額 ¥370,000 保険料月割額 ¥90,000

- ① ¥970,000 ② ¥890,000 ③ ¥880,000 ④ ¥870,000 ⑤ ¥810,000

28

(3) J社では個別原価計算を採用し、製造間接費予算額を公式法変動予算で設定している。次の資料から、実際操業度400時間における製造間接費予算額はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

資 料

基準操業度（直接作業時間）425時間

固定費予算額 ¥25,000

変動費率 1時間あたり¥80

- ① ¥32,000 ② ¥34,000 ③ ¥43,000 ④ ¥57,000 ⑤ ¥59,000

29

(4) K社は単純総合原価計算を採用している。次の資料から、先入先出法を用いたときの月末仕掛品原価はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、素材は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

資 料

A 生産データ

月初仕掛品 200個（加工進捗度40%）

当月投入 800個

合計 1,000個

月末仕掛品 400個（加工進捗度50%）

完 成 品 600個

B 月初仕掛品原価 ¥180,000

内訳（素材費 ¥100,000 加工費 ¥80,000）

C 当月製造費用 ¥1,860,000

内訳（素材費 ¥360,000 工場消耗品費 ¥300,000 労務費 ¥1,000,000 経費 ¥500,000）

- ① ¥570,000 ② ¥654,000 ③ ¥680,000 ④ ¥700,000 ⑤ ¥1,080,000

30

【5】 次の問いに答えよ。

- (1) M社は標準原価計算を採用している。次の資料から、A製品の完成品の標準原価はいくらになるか。
①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

資 料

A 標準原価カード

A製品			
標準原価カード			
	標準単価	標準消費数量	金額
直接材料費	¥15	2 kg	¥30
	標準賃率	標準直接作業時間	
直接労務費	¥10	2 時間	¥20
	標準配賦率	標準直接作業時間	
製造間接費	¥20	2 時間	¥40
		製品 1 個当たりの標準原価	¥90

B 生産データ (A製品)

月初仕掛品	200個 (加工進捗度50%)
当月投入	<u>1,100個</u>
合計	1,300個
月末仕掛品	<u>300個</u> (加工進捗度40%)
完成品	<u>1,000個</u>

- ① ¥70,000 ② ¥90,000 ③ ¥91,000 ④ ¥99,000 ⑤ ¥117,000

31

- (2) (1) の資料から、A製品の月末仕掛品の標準原価はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ¥11,700 ② ¥16,200 ③ ¥18,000 ④ ¥21,600 ⑤ ¥27,000

32

(3) N社は直接原価計算を採用している。次の資料から、目標とする営業利益¥10,000を達成するために必要な販売数量は何個か。①～⑤から選び、番号で答えよ。

資 料

A	変動製造費（製品1個あたり）	¥100
B	変動販売費（製品1個あたり）	¥50
C	固定製造間接費	¥2,200
D	固定販売費及び一般管理費	¥800
E	販売単価（製品1個あたり）	¥250

- ① 40個 ② 52個 ③ 78個 ④ 130個 ⑤ 140個

33

(4) O社は直接原価計算を採用している。次の資料から、目標営業利益¥99,000を達成するための売上高はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

資 料

A	販売単価	¥180	販売数量	2,000個
B	変動費（製品1個あたり）	¥60		
C	固定費	¥96,000		

- ① ¥130,000 ② ¥195,000 ③ ¥292,500 ④ ¥324,000 ⑤ ¥360,000

34

【6】 次の問いに答えよ。

(1) 商品の市場を花形、金のなる木、問題児、負け犬の4つのポジションに分類し、商品販売における投資や経営戦略などの決定に役立つ手法はどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ABC分析 ② ブレーンストーミング ③ PPM分析 ④ KJ法
⑤ SWOT分析

35

(2) コンピュータシステムの信頼性の指標としてあてはまらないものはどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 信頼性 ② 生産性 ③ 可用性 ④ 保守性 ⑤ 完全性

36

(3) コンピュータには、非常に有益な情報が保存されている。そのため、悪意のある人間が、機密情報や個人情報などのデータを悪用できないようにデータ保護が必要である。次のうちデータ保護にあてはまらないものはどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 暗号化 ② バックアップ ③ アクセス制限
④ スループット ⑤ ファイアウォール

37

(4) 次のクロック周波数に関する説明のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① CPUは各装置との動作タイミングを合わせるため、正確な周期で電圧の「高」「低」を繰り返すクロック信号を発生させている。この信号が1秒間に何回繰り返されるかをクロック周波数という。
② クロック周波数以外に、CPUの構造が違っていてもその性能比較できる指標の一つにMIPSがある。
③ 一般に構造が同じCPU同士のパソコンでは、クロック周波数が大きいほど処理速度が速く、性能がよいと判断されるが、CPUの処理能力はクロック周波数だけで単純比較はできない。
④ クロック周波数はCPUの動作の速度を表し、単位にギガバイトなどがある。
⑤ クロック周波数が高くなるほどパソコンの命令実行速度が向上するとともに、処理速度も向上する。

38

【7】 次の問いに答えよ。

(1) 平均命令実行時間が25ナノ秒のコンピュータの性能は MIPSである。 に入るものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 4 ② 40 ③ 400 ④ 4,000 ⑤ 40,000

(2) プリンタの印刷設定を解像度300dpiとし、ピクセルサイズが横600×縦300ピクセルの画像を印刷した場合、印刷する紙の面積は cm²である。 に入るものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、1インチ=2.5cmとする。

- ① 25 ② 5 ③ 12.5 ④ 25 ⑤ 50

(3) 2進数11001001を16進数で表現したものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 9A ② 9B ③ B9 ④ C9 ⑤ D9

【8】 次の問いに答えよ。

(1) 次のデータベースソフトウェアに関する説明のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① データベース管理システムによって一元管理されているので、利用者がデータの格納場所を知らなくてもよい。
- ② 複数のデータを一元管理しているため、利用者はアプリケーションの違いやプログラムの違いを意識せずに利用することができる。
- ③ 複数の人が同時に一つのファイルを利用しても、更新の発生と同時に、利用者に最新のデータを提供することができる。
- ④ 様々な障害からシステムを保護する機能や、許可された利用者だけが利用できるようなセキュリティ機能を持っている。
- ⑤ データが格納されているファイルの場所やファイルのなかの位置を利用者が知っている必要がある。

42

(2) 次のリレーショナルデータベースに関する説明のうち、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 正規化とは、項目を効率よく利用できるように二次元表を整理することである。この際、必ずしもデータ間が共通の項目で関係付けられている必要はない。
- ② 主キーは二次元表内のデータを一意に識別できることが可能な項目で、複数の項目の組合せからなるものは認められない。
- ③ 二次元表間でリレーションシップを設定するときは、二次元表間でデータの論理的な不整合が起らないようにデータの整合性をチェックする参照整合性がある。
- ④ リレーショナルデータベースで扱うことのできる二次元表の数にはメモリの容量の制限以外にもいくつか制限がある。
- ⑤ 主キーのデータの型は必ず数値型でなければならない。

43

(3) 次のリレーショナルデータベースの操作を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

生徒数

学籍番号	名 前	学 科	部活動
1101	安達 光	普通科	ラグビー
1102	井上 陽介	普通科	
1103	片山 奈々	普通科	ダンス
1104	久米 佳子	普通科	吹奏楽
}	}	}	}
3840	山本 純子	情報処理科	ラグビー

▲基本表

⇒

名 前	部活動
安達 光	ラグビー
井上 陽介	
片山 奈々	ダンス
久米 佳子	吹奏楽
}	}
山本 純子	ラグビー

▲クエリ

- ① 選択 ② 射影 ③ 順次 ④ 分割 ⑤ 関連

44

(4) 次のような商品表、売上明細表がある。これに対して、下のSELECT文を実行した時の抽出結果はどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

商品表

商品コード	商品名	単 価	在庫数
S0101	商品 A	100	500
S0102	商品 B	150	400
S0103	商品 C	180	800
S0201	商品 D	160	300
S0202	商品 E	150	250
S0203	商品 F	800	600
S0301	商品 G	1000	250

売上明細表

伝票番号	商品コード	数 量
1	S0101	100
1	S0102	150
2	S0103	200
3	S0201	200
3	S0202	200
4	S0101	100
5	S0102	250
6	S0103	300

```
SELECT 商品コード, 商品名
FROM 商品表
WHERE 商品コード IN
      (SELECT 商品コード FROM 売上明細表 WHERE 数量 >= 200)
```

①

S0102	商品 B
S0103	商品 C
S0201	商品 D
S0202	商品 E

②

S0103	商品 C
S0201	商品 D
S0202	商品 E
S0103	商品 C

③

S0102	商品 B
S0103	商品 C

④

S0101	商品 A
S0102	商品 B

⑤

S0101	商品 A
S0102	商品 B
S0103	商品 C

【9】 次の図1～図6及び処理条件を読んで、流れ図の空欄 46 ～ 50 にあてはまる答えを解答群①～④からそれぞれ選び、番号で答えよ。

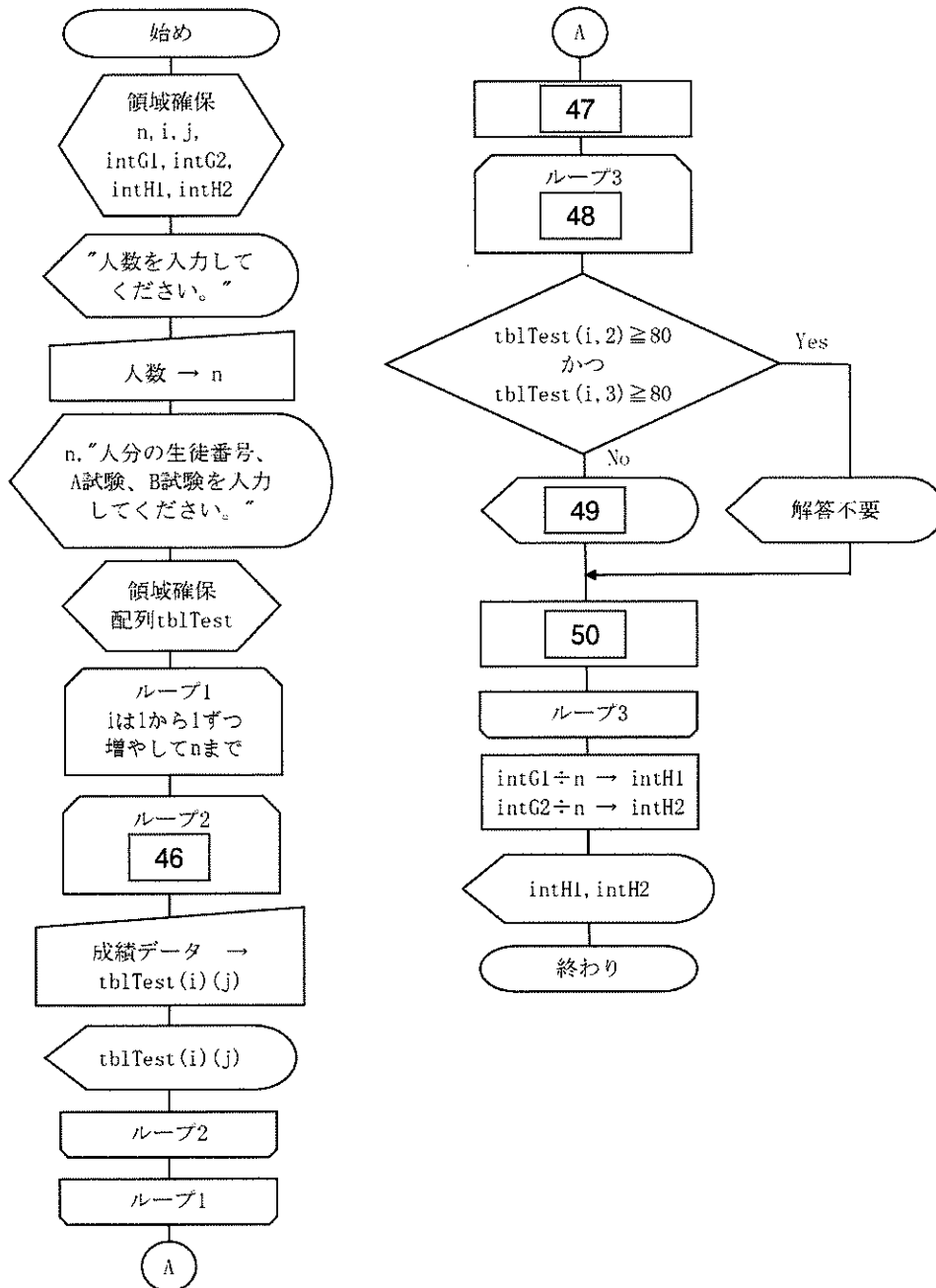


図1

入力データ

生徒数

人数 (n) ×××

図2

成績データ

(生徒番号)	(A試験)	(B試験)
×××	×××	×××

図3

入力形式

console

人数を入力してください。
10人分の生徒番号、A試験、B試験を入力してください。

1
76
83
2
87
100
3
43
39
{
}

出力形式

(成績一覧表)			
<生徒番号>	(A試験)	(B試験)	(判定)
1	76	83	
2	87	100	*
3	43	39	
}	}	}	}
n	95	91	*
<平均点>	68.3	79.6	

図 4

出力形式

(成績一覧表)			
<生徒番号>	(A試験)	(B試験)	(判定)
1	76	83	
2	87	100	*
3	43	39	
}	}	}	}
n	95	91	*
<平均点>	68.3	79.6	

図 5

処理条件

1. キーボードから、人数（生徒数）、成績データ（生徒番号、A試験、B試験）を入力して、成績一覧表を出力する。
2. 入力する人数（生徒数）はn人で、最大999人までとする。
3. 成績データ（生徒番号、A試験、B試験）を、二次元配列tblTestに記憶させる。

配列tblTest

	0	1	2	3
0				
1				
2				
}	}	}	}	}
n				

図 6

4. A試験とB試験がともに80点以上の場合、判定に*を出力する。
5. すべての生徒の成績を出力したあと、最後にA試験とB試験の平均点を出力する。平均点は、次の計算式で求める。ただし、端数処理はコード化するプログラム言語に委ねるものとする。

$$\text{平均点} = \text{合計点} \div \text{生徒数}$$

6. データにエラーはない。

解答群

- ① iは1から1ずつ増やして3まで
- ② iは1から1ずつ増やしてnまで
- ③ jは1から1ずつ増やして3まで
- ④ jは1から1ずつ増やしてnまで
- ⑤ tblTest(i, 1), tblTest(i, 2), tblTest(i, 3)
- ⑥ tblTest(i, 1), tblTest(i, 2), tblTest(i, 3), "*"
- ⑦ 0 → intG1, 0 → intG2
- ⑧ 0 → intH1, 0 → intH2
- ⑨ intG1+tblTest(i, 2) → intG1, intG2+tblTest(i, 3) → intG2
- ⑩ intG1+tblTest(j, 2) → intG1, intG2+tblTest(j, 3) → intG2

